

夢アイデア企画書

アイデア

マッチング推進隊の設置

背景

お国や社会の隆盛は人の多さ、交流の多さが握っていると言って過言でない。今コロナ禍で国境跨ぐこと、地方圏域や県境をを跨ぐことが制約されているが、過ぎれば再び背中を押され肩を叩かれること言うまでもない。

そこで地方、地域単位でしっかりした基礎づくり、組織づくりが欠かせない。特に身の回りレベルで考えてみると昔よくいた世話人をはじめ町内会自治会機能の希薄化が鮮明になっている今、意識してマッチング実践活動を活発にしてゆかざるを得ない。

方法

マッチングや交流を進める大きな種別として過疎対策と体験学習が挙げられる。

まず、過疎対策へのマッチングといえば婚活と空家対策である。婚活ではかつてテレビで地方在住男性へ嫁入りしたい女性を募り、マッチングのお手伝いをするイベント番組が放映されていた。あの踏襲版あるいは逆に都市在住男性に嫁入りしたい女性を募りマッチングを手伝うイベントを開催することである。逆に男性を女性に、女性を男性に置き換えて実施する方法も考えられる。さらにそれらを年代別に実施するという方法も取り入れたい。空家対策では空家の把握とその紹介、加えて初期段階の補助制度の創設である。情報とその役割にかかる信頼確保のため行政との協働が欠かせない。

次に、体験学習へのマッチングとしては主として子供が対象である。学業の一環として、あるいは部活の一環として、例えば海体験、農体験、林体験などである。業として実施中の方々との連携が欠かせない。子供とその親、兄弟まで広げて具体的に地域に資する手法も考えられる。

効果

交流や移動が活発になり、過疎の収縮化が期待でき地方地域の未来計画も豊かなものになる。

行政と民間の橋渡しの役割が重視され、新たな職域が開発される。

東京や都市部への一極集中が是正の方向に進み、地方地域格差の減少が期待できる。